

# 浄水場整備調査特別委員会 活動報告

委員15名による浄水場整備調査特別委員会は、3月定例会において中間報告を提出するにいたりました。(3頁参照)

以下に調査内容を報告します。

◇調査の経過・審査内容◇

第1回(平成21年12月18日)

・正副委員長の互選

・近隣浄水場の現地視察について

・他自治体への資料請求について

第2回(平成22年1月15日)

・大沢浄水場の現地視察

・湯沢市の岩崎浄水場、横堀小野

浄水場の現地視察

・各浄水場視察をふまえての協議



2月26日に行われた研修会風景

・他自治体浄水場への質問事項について

第3回(平成22年1月27日)

・膜ろ過による処理を行っている

浄水場からの資料検討

・横手川原水高濁度の状況について

研修会(2月26日)

講師として社団法人日本水道協

## 厚生常任委員会・特別委員会設置に係る調査

### 一般廃棄物処理場を視察

仮称・一般廃棄物処理場の用地取得問題等を審査するための特別委員会設置の可否についての検討と内容等に係る協議を行い、3月定例会までに議会運営委員会へ結果を報告することを目的として、2日間の日程で調査と検討を行いました。

平成22年1月14日、大仙美郷クリーンセンター、横手市東部・西部・南部の各環境保全センター、の4カ所を視察しました。

大仙美郷クリーンセンターは設置の経緯が4年間延べ7回にわた

会水道技術総合研究所主任研究員・渡辺映一氏を迎え、横手地域局で市議会議員、上下水道部等職員参加のもと、処理方式の概要と選定条件、課題と対応に関する研修会を開催

第4回(2月26日)

・研修会をふまえての協議

第5回(3月9日)

・委員会調査中間報告書(案)について

・行政視察について

る住民説明会などを経ていることを参考にし、稼動開始後8年目で一日154トンのゴミ焼却施設、灰溶融設備、リサイクルプラザ、資源物ストックヤードを視察しました。用地選定については、個別の対応ではなく地域全体のメリットを提案することが肝要との説明がありました。

次に現在稼動中である横手市の3施設を視察して当局とも意見を交わし、2月9日の会議で論議した結果、特別委員会は設置せずに検討を重ねることと申し合わせました。

平成21年度の

## 行政視察 受入れ状況

行政視察は、議会の常任委員会などが、自分たちの自治体の事業評価や政策課題の解決に向けて、先進的な事例や先駆的な取り組みを現地で調査するものです。

横手市には市議会を通じ、全国の地方議会等から調査・研究のための視察団が訪れています。平成21年度には全国24自治体の議会から、延べ175名が横手市の魅力ある施策を視察しました。

視察件数が多かったのは、健康の駅推進事業、食と農からのまちづくりで、次いで、市立大森病院の経営、学力向上の取り組み、マーケティング推進事業などでした。このほか、横手やきそばによる地域振興、蔵を生かしたまちづくりなど、地域に根ざした取り組みなども、全国の自治体から注目を集めています。

市議会では、これからも市民とともにまちづくりに取り組む横手市を、全国に情報発信してまいります。